

峡東地域世界農業遺産について

1. 峡東地域世界農業遺産とは

- ・山梨県峡東地域（山梨市、笛吹市、甲州市）は全国随一の果樹産地で、地域の気候や地形を生かしてぶどう、もも、かきなど、多種多品目の果樹生産を行っている。
- ・こうした果樹生産の方式「峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム（以下、「果樹農業システム」とする。）」は、令和4年7月に国際連合食糧農業機関（以下「FAO」という。）から世界農業遺産の認定を受け、峡東地域世界農業遺産推進協議会により、峡東地域世界農業遺産の保全や活用に係る事業を実施している。

2. 課題・現状

①地域住民の峡東地域世界農業遺産の価値の認識

- ・世界農業遺産は、FAOが、重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を認定する制度である。
- ・世界的認証制度であるが、峡東地域の住民の中で峡東地域世界農業遺産の認知度が低く、その価値に対する認識が広まっていない。

②地域住民の主体的な保全活動

- ・峡東地域世界農業遺産の保全を意識した、農業者や地域住民の主体的・地域的な取り組みにつなげ、保全を行う必要がある。

③活用に関する活動

- ・行政主導で世界農業遺産の認定を活用したプロモーションを行っているが、事業者によるプロモーションや経済活動に結びついた活用はこれからである。

④農業従事者の高齢化・減少

- ・農業従事者は高齢化し、年々減少しており、将来的に峡東地域世界農業遺産を核とした果樹農業の伝承が困難になる可能性がある。

3. ビジョン

①地域住民の峡東地域世界農業遺産の価値の認識

- ・峡東地域の住民のほとんどが峡東地域世界農業遺産の価値を認識している。
- ・峡東地域外に居住する者が峡東地域に来訪するときに、峡東地域世界農業遺産について知る機会を提供できる。

②地域住民の主体的な保全活動

- ・地域住民により果樹農業システムの保全、伝承の取り組みが継続的に行われている。

③活用に関する活動

- ・農業者や地域住民等により、世界農業遺産の認定を活用した農産物等のプロモーションなど、経済活動に結びつけた活動が行われている。

④農業従事者の高齢化・減少

- ・若手農業従事者の増加による若返り、農業従事者数の維持。